

中国大気汚染が与える影響

国際文化学部国際文化学科

3年 13011001 阿武美波

今年 11 月末に世界のメディアが中国の大気汚染について報道した。中国の首都・北京市では 12 月 7 日に大気汚染に対する最高レベルの「赤色警報」が初めて発令され、8 日朝から緊急対策が実施された。さらに、同月 19 日にも史上 2 回目の「赤色警報」が発令され、隣国の大気にも影響を与えるなど中国の大気汚染の深刻さが浮き彫りになった。この大気汚染の問題については中国だけではなく、全世界が一同となって取り組んでいかないとはいけない。そのためまず中国の大気汚染の現状がどうなっているのか詳しく知る必要があるため、今回のレポートでは中国の大気汚染について以下の 3 点で考察していきたい。

- 1、中国の大気汚染の現状
- 2、なぜ今「赤色警報」なのか
- 3、大気汚染が与える影響

1、中国の大気汚染の現状

現在の中国の大気汚染は最も深刻な状況である。史上最高の「赤色警報」の発令という事態に国民からも批判が殺到し、現在中国政府は大気汚染に対して迅速な措置をとることを迫られている。わたしたちの周囲では、中国政府の環境保護に対しての意気込みを疑うひとも多い。しかし、中国政府が環境問題に対してまったく取り組んでいないということではない。

たとえば、中国政府が定期的に出している環境問題解決費用についての報告書によると、第 12 次 5 年計画が 12 月に終了するまでに、中国は今期だけで観光保護対策として 5 兆元（100 兆円）以上を投じることになっている^{【注 1】}。また、深刻な大気汚染対策に関しては、第 10 次 5 年計画から、二酸化硫黄に対して総量削減目標を設定し、省・直轄市レベル、市レベル、企業レベルでそれぞれ排出削減目標の割り当てを行う「目標責任制度」と目標を達成できなかった地方政府等の幹部を罰する「一票否決制度」を採用し、第 11 次 5 年計画では総量削減に成功した。第 12 次 5 年計画では対象に窒素酸化物が加わっている^{【注 2】}。このほかにもたくさんの規制強化がなされている。このように中国政府も環境を保護するために何の対策もしていないということではない。

ではなぜ、未だに大気汚染で「赤色警報」がでる程に環境破壊が深刻化し続けているのだろうか。これには中国政府も来年 3 月に発表される第 13 次 5 年計画では間違いなく、

この問題解決にさらに力を入れ、膨大な投資をしないといけなくなるだろう。

2、なぜ今「赤色警報」なのか

中国政府が長年環境保護に対したくさんの規制強化をかけているにも関わらず、なぜ今回の大気汚染のように未だに環境問題に大きな改善が見られないのか。これには、政策の徹底が欠けていることに関係している。上記で述べたように現行の環境基準はたくさんあるが、この基準に対しての徹底性が十分ではないことがわかった。それは政府が打ち出した環境基準自体が、経済成長のための物価上昇や高い雇用率の維持というような他の政府目標と矛盾するところがあるためである。大気汚染に対する批判のほとんどは、急成長を遂げる中国の自動車産業に向けられている。「世界の工場」である中国では、自動車の製造業は現在では年間 2,400 万台を生産し、世界の年間生産量の約 3 割を占めている^{【注 3】}。また、中国では未だに使用する燃料の 6 割以上が石炭であり、石炭に依存する産業も少なくない。経済成長の維持を打ち立てている現在の中国では、二酸化炭素を大量に排出する石炭の使用を制限することは難しい状況である。こういった理由から、環境基準を敷いているとはいえ、それに矛盾する政策を中国政府が打ち立てていることから、規制強化を徹底できないという状況をつくりだしている。

3、大気汚染が与える影響

2013 年 4 月 17 日、米ラジオ局ボイス・オブ・アメリカ (VOA) 中国語版は、深刻な大気汚染に見舞われている北京を離れる外国人が増えていると伝えた^{【注 4】}。理由としては、大気汚染がもたらす健康被害が大きいからである。米健康影響研究所 (HEI) によると、2010 年に中国で大気汚染が原因で亡くなった人は約 120 万人であり、屋外大気中の粒子物質 (PM) が食事、高血圧、喫煙に続く寿命を縮める要素となっている^{【注 5】}。このように、大気汚染による健康被害は深刻であり、中国で成功した外国人創業者などが健康への影響を恐れ次々と海外に“逃亡”している。また、健康への影響を懸念しているのは外国人だけではない。中国人でも妊婦・子連れを中心に海外に“逃亡”したがつている。子供・老人が大気汚染の健康被害を一番に受ける。また、障害児の出生率も高くなった。世界保健機関 (WHO) は、障害を持った新生児が高確率で生まれる国に中国を認定している。このように現在では大気汚染がもたらす脅威が着実に大きくなっていつている。

今回史上初の「赤色警報」が発令されたことにより、再度中国大陸においての環境汚染の深刻さが浮き彫りになった。また以前と違うことは中国市民も次第に環境問題を意識するようになり、政府に行動を起こすよう呼びかけていることである。中国が環境コストを度外視して急速な経済成長を優先しすぎたせいではないかという懸念が、市民の間で高ま

っているからである。しかし、この現状を改善するには中国全体の「経済優先」という考えを変えないといけない。「赤色警報」は最悪の事件であるが、ある意味中国国民に危機感をもたすには良い警告だったのではないかと思う。

【注】

【注 1】 大気汚染と戦う中国 Forbes JAPAN

<http://forbesjapan.com/articles/detail/10588> (2015.12.23)

【注 2】 政策動向と課題 環境省 日本の環境対策技術のアジア展開に向けて

<https://www.env.go.jp/air/tech/ine/asia/china/indexCH.html> (2015.12.23)

【注 3】 大気汚染と戦う中国 Forbes JAPAN

<http://forbesjapan.com/articles/detail/10588> (2015.12.23)

【注 4】 外国人を追い出す中国の大気汚染—米メディア Record china

<http://www.recordchina.co.jp/a71532.html> (2015.12.23)

【注 5】 <中華ボイス>毎年 90 万人の障害児が誕生する中国、環境汚染が大きく影響—中国ネットユーザー Record china

<http://www.recordchina.co.jp/a72061.html> (2015.12.23)

《参考文献》

1、外国人が中国を去る理由、「大気汚染で片付くほど単純ではない」—香港紙 Record china <http://www.recordchina.co.jp/a72300.html> (2015.12.23)

2、子どもが外で遊べない！大気汚染が変えた子どもたちの生活、移民を希望する人も多数—中国 Record china <http://www.recordchina.co.jp/a72140.html> (2015.12.23)

3、中国、環境分野では日本と協力したいが…関係改善は難しい—香港メディア Record china <http://www.recordchina.co.jp/a72140.html> (2015.12.23)

4、不十分な大気汚染への対応、チャイナドリームも「窒息」—英紙 Record china <http://www.recordchina.co.jp/a72132.html> (2015.12.23)

5、中国 大気汚染対策で広がる波紋 NHK online 国際報道 <http://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/archive/2015/01/0121.html> (2015.12.23)

6、肺がん発病者数が年 10%ペースで増加中＝大気汚染、副流煙との関係に注目—北京市 Record china <http://www.recordchina.co.jp/a71901.html> (2015.12.23)

7、日経ビジネス 中国、大気汚染「赤色警報」と景気減速の関係
進まぬ過剰生産能力の解消

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/110879/120900175/?rt=nocnt> (2015.12.23)